



## 国内データセンターサービスの市場予測を発表 今後2013年まで年間平均成長率12.8%で拡大

- IDC Japanは、国内データセンターサービス（顧客企業の情報システムをデータセンターで監視・運用するサービス）の市場予測を発表した。これによると、2008年の同市場は前年比12.5%増の7,612億円に達し、今後2009年から2013年まで年間平均成長率12.8%で市場規模が拡大、2013年には1兆3,213億円になると予測している。

### 「コロケーション」「ホスティング」「ITサービス」のカテゴリ別に分析

2010年1月、IDC Japan（以下、IDC）は、国内データセンターサービスの市場予測（レポート）を発表した。本レポートは、2010年～2013年の国内データセンターサービス市場を「コロケーション」「ホスティング」「ITサービス」の3つのサービスカテゴリ別に分析し、市場規模を予測したものである。本レポートによると、企業における経費抑制圧力が強まっており、システム運用を新たに外部委託する動きが

鈍くなっていることに加えて、既に外部データセンターに運用委託している企業では、委託範囲を絞込む動きがみられる。サーバ設置場所を貸し出す「コロケーションサービス」や、データセンター事業者が所有するサーバを特定の顧客専用を提供する「専有ホスティングサービス」は、新規利用のための費用が大きくかかるため需要が伸び悩んでいる。一方、データセンター事業者が所有するサーバを複数の企業が共有して利用する「共有ホスティングサービス」では、料金が比較的安価で済むことが多く、景気後退の影響は比較的小さ

いそうである。

### サービスの種類と質による差別化が重要

また2010年以降、景気が回復するにつれて、国内データセンターサービス市場の前年比成長率は上昇に転じるとIDCでは予測しており、2013年までの同市場の伸びは、比較的高水準で推移するそうである。ただし都市部を中心に、データセンター事業者によるデータセンターの大規模な新設／増設が予定されており、市場では需給の緩みが発生することによる価格低下圧力が強まるものとIDCはみている。同社ITサービスリサーチマネージャーの伊藤未明氏は「単純な設備貸しとしてのデータセンターサービスだけでは差別化が難しくなっており、データセンターの運用品質および信頼性の高さなど、サービスの種類と質による差別化が重要となる」と分析している。

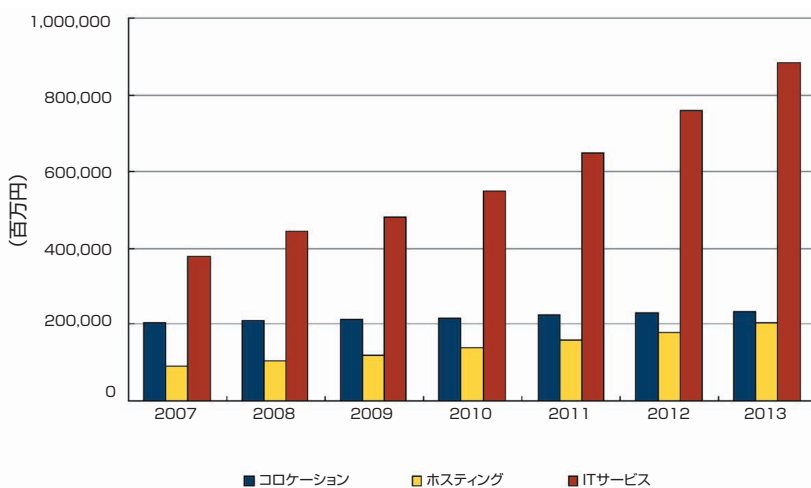


図1 国内データセンターサービス市場セグメント別投資額予測 2007年～2013年

#### ●お問い合わせ先●

IDC Japan(株) セールス  
 TEL : 03-3556-4761  
 E-mail : jp-sales@idcjapan.co.jp  
 URL : http://www.idcjapan.co.jp/